

《第76回 千葉糖尿病教育スタッフ研究会のお知らせ》

<http://www6.plala.or.jp/chiba-dm-staff/index.html> 平成25年8月19日

季夏の砌、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回のテーマは「糖尿病と妊娠～GDMの診断と治療・チームアプローチ～」です。

第1部では、「インクレチン時代の経口血糖降下薬シリーズ」の第5弾です。αGI、チアゾリジン、BG、SU薬に続いて、今回は「グリニド（短時間作用型インスリン分泌促進）薬」を取り上げ内田先生に、正しい使い方、使用・存在意義、安全性、インクレチン関連薬との併用のメリットなども含めて解説してもらいます。

第2～3部はテーマ「糖尿病と妊娠～GDMの診断と治療・チームアプローチ～」です。

特に今回は2010年7月の診断基準等の変更後、それぞれの立場から、増加しているGDMに対する診断と治療、様々なアプローチ・支援などについて解説・講演して頂きます。

まず最初に助産師の猪熊さんから診断基準変更後のGDM増加を見据えた成田赤十字病院におけるGDMプロジェクトの立ち上げと、GDMの管理、産科と内科のコラボについて報告して頂き、続いて橘先生から千葉大学附属病院におけるGDMの治療・管理の実際を大学病院の特殊性も踏まえて報告・解説してもらいます。

そして最後に穴澤先生に御講演頂きます。診断基準の変更、その意義、診断と治療、増え続けるGDMに対するアプローチ、DOHaDも含めて母児を巡る様々をお話し頂きます。

ご案内が大変遅くなり申し訳ありませんが、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成25年10月12日(土) 14:25～17:35

申込み 当日14:00から受け付けます(参加予約は不要です)。

場所 千葉大学医学部附属病院 3階 第1講堂

*お車でのお越しはなるべくご遠慮下さい。駐車場料金は自費になります。

参加費 1000円(資料代・飲み物代等を含む) 当日受付でお支払い下さい。(学生は無料です)

*糖尿病療養指導研修単位を取得される方は認定番号が必要となります。

内容

司会：千葉市立青葉病院

山本 恭平

第1部 14:25～15:10

レクチャー：インクレチン時代の経口血糖降下薬シリーズ・その5

「グリニド（短時間作用型インスリン分泌促進）薬」

ほたるのセントラル内科 内田 大学

司会：東京女子医科大学八千代医療センター

橋本 尚武

第2～3部 テーマ「糖尿病と妊娠～GDMの診断と治療・チームアプローチ～」

15:15～15:40

実践報告：新診断基準後のGDMに対するチームアプローチ

～GDMプロジェクトの立ち上げと産科と内科のコラボレーション～

成田赤十字病院産婦人科助産師 猪熊 薫

15:40～16:10

レクチャー：当院における診断基準変更後のGDMの管理

千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科 橘 香穂里

16:10～17:35

特別講演：「妊娠糖尿病～その母児をめぐって～」

済生会中央病院 内科

穴澤 園子先生

(敬称略)

☆各施設・部署の責任者の方には、是非スタッフの皆さんにお知らせ下さいますようお願い致します。

多くの皆様のご参加をお願いいたします。

☆次回第77回定例会は、平成26年2月 日(土)にテーマ「 」で予定しております。

★本研究会は糖尿病療養指導士認定機構に「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として〈第2群〉(糖尿病療養指導研修単位)1単位(認定番号13-)を申請中です。

★本研究会は千葉県糖尿病療養指導士/支援士の認定更新のための3単位(13-)も取得できます。

(事務局) 成田赤十字病院糖尿病代謝内科 松尾 哲

TEL 0476-22-2311 Fax 0476-22-6477

(主催) 千葉糖尿病教育スタッフ研究会

(後援) 千葉県糖尿病対策推進会議